

平成 30 年度家庭エコ診断制度の事業成果について

1. 都道府県ごとの推定 CO₂ 排出割合(平成 30 年度)

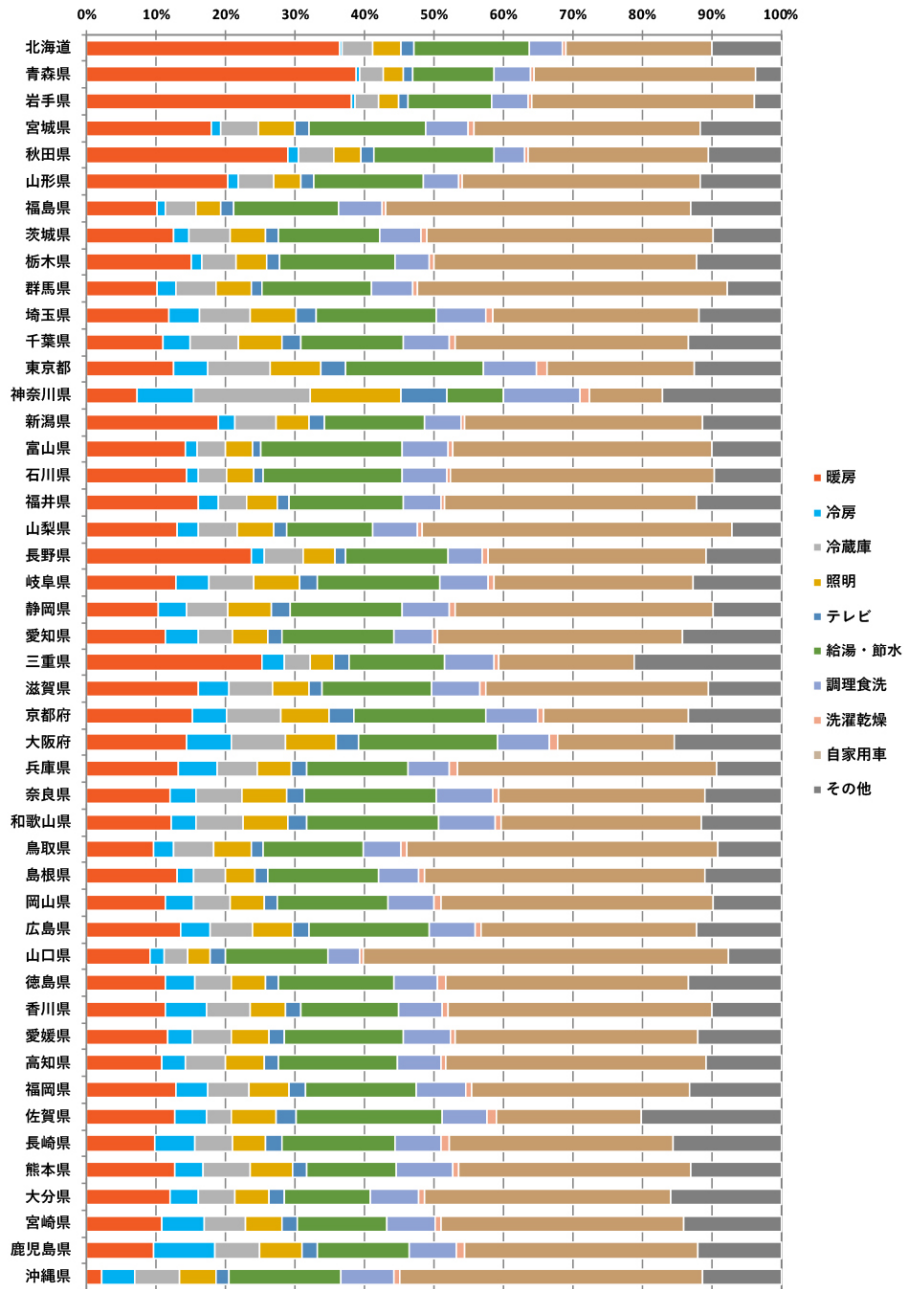


図 1 都道府県ごとの推定 CO₂ 排出割合

- ※1 うちエコ診断で得られる世帯別用途別 CO₂ 排出量のデータを都道府県別世帯人数別に推計し、都道府県別世帯人数別の CO₂ 排出原単位を作成した上で、都道府県ごとの世帯人数別世帯数(総務省国勢調査：平成 27 年度)を乗じることにより、都道府県ごとの家庭からの排出割合を推計しました。
- ※2 ただし、青森県、富山県、和歌山県、宮崎県については、平成 30 年度事業においてうちエコ診断が実施されなかったことから、周辺の県の値を参考に都道府県別世帯人数別の CO₂ 排出原単位を作成した上で当該件の世帯人数別世帯数を乗じて推計しました。

2. 気候区分別の対策メニューの実施傾向（平成30年度）

表 2 気候区分別の受診世帯による選択数が多かった対策メニュー

気候区分 I

順位	対策分野	対策内容	選択数	実施数	実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	76	70	92%
2	給湯節水	給湯器をエコナース（潜熱回収型）に買い替える	61	55	90%
3	給湯節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	45	36	80%
4	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	39	33	85%
5	給湯節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	34	20	59%
6	冷暖房	暖房をする時間を1時間短くする	33	26	79%
7	冷暖房	窓・サッシに断熱シートを貼る	33	26	79%
8	冷暖房	暖房をする時間を3割短くする	32	18	56%

気候区分 II

順位	対策分野	対策内容	選択数	実施数	実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	5	4	80%
2	給湯節水	シャワーの時間を3割減らす	5	5	100%
3	冷蔵庫	冷蔵庫を省エネ型に買い替える	4	2	50%
4	給湯節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	4	4	100%
5	照明	部屋の蛍光灯をLEDシーリングライトに付け替える	4	3	75%
6	冷暖房	暖房をする時間を3割短くする	3	2	67%
7	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	2	2	100%
8	冷蔵庫	3台目の冷蔵庫を止める	2	2	100%

気候区分 III

順位	対策分野	対策内容	選択数	実施数	実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	96	92	96%
2	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	47	42	89%
3	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	45	43	96%
4	給湯節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	44	37	84%
5	給湯節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	34	14	41%
6	給湯節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	30	17	57%
7	冷暖房	暖房をする時間を3割短くする	29	21	72%
8	冷暖房	暖房をする時間を1時間短くする	29	25	86%

気候区分 IV

順位	対策分野	対策内容	選択数	実施数	実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	820	745	91%
2	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	726	643	89%
3	給湯節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	703	582	83%
4	給湯節水	手元止水型節水シャワーヘッドを設置する	614	384	63%
5	冷蔵庫	冷蔵庫を省エネ型に買い替える	529	287	54%
6	太陽光	屋根に太陽光発電装置を設置する	478	384	80%
7	給湯節水	節水シャワーヘッドを取り付けて利用する	442	274	62%
8	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	399	373	93%

気候区分 V

順位	対策分野	対策内容	選択数	実施数	実施率
1	自家用車	エコドライブに心がける	20	19	95%
2	冷暖房	暖房の設定温度を控えめにする	12	11	92%
3	給湯節水	シャワーを使う時間を1人1日1分短くする	9	8	89%
4	自家用車	車に低燃費オイルを使用する	9	3	33%
5	冷蔵庫	冷蔵庫の設定を弱くする	9	6	67%
6	自家用車	カーエアコンの温度と風量をこまめに調整する	8	8	100%
7	冷暖房	冷房で、扇風機を使いエアコン利用を3割減らす	8	5	63%
8	自家用車	タイヤの空気圧を適正に保つ	4	4	100%

	気候区分に関係なく共通に選択されている対策
	寒冷地域に特徴的な対策
	温暖地域に特徴的な対策
赤字	買い替えに関する対策

※ 気候区分については、「住宅事業建築主の判断基準」に基づき地域を区分したものです。

※ 気候区分VIについては、診断実施件数が少なかったため、IからVの地域のみ集計を行っております。

3. みなし CO₂ 排出削減量、および節約金額(平成 30 年度)

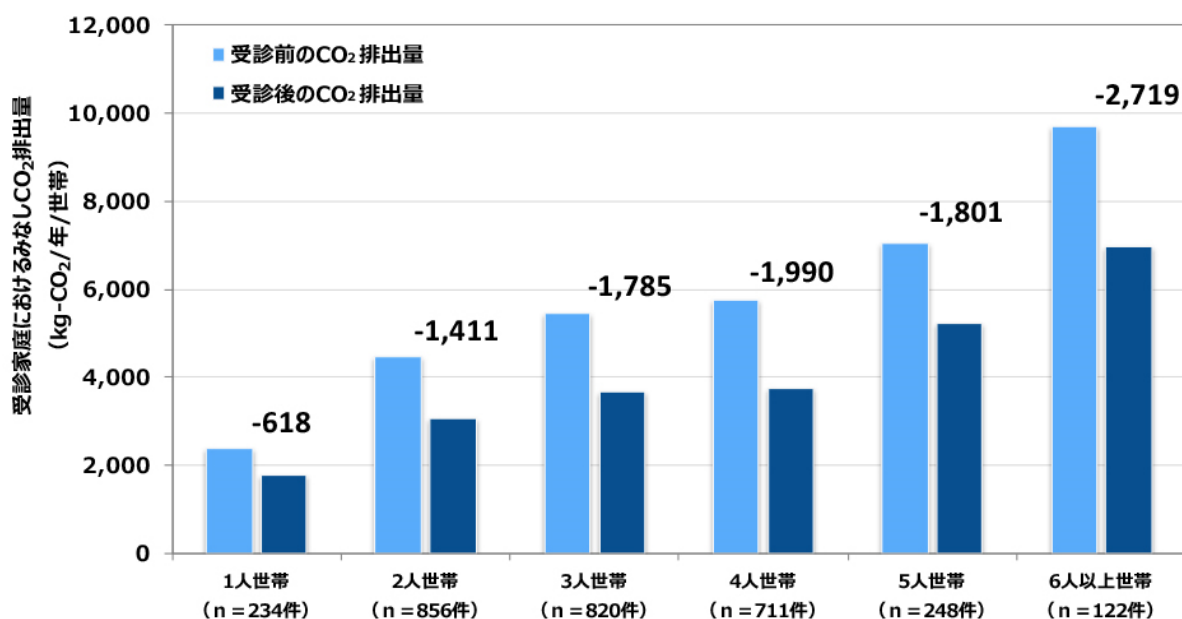


図 2 世帯人数別の診断前後の CO₂ 排出量の比較

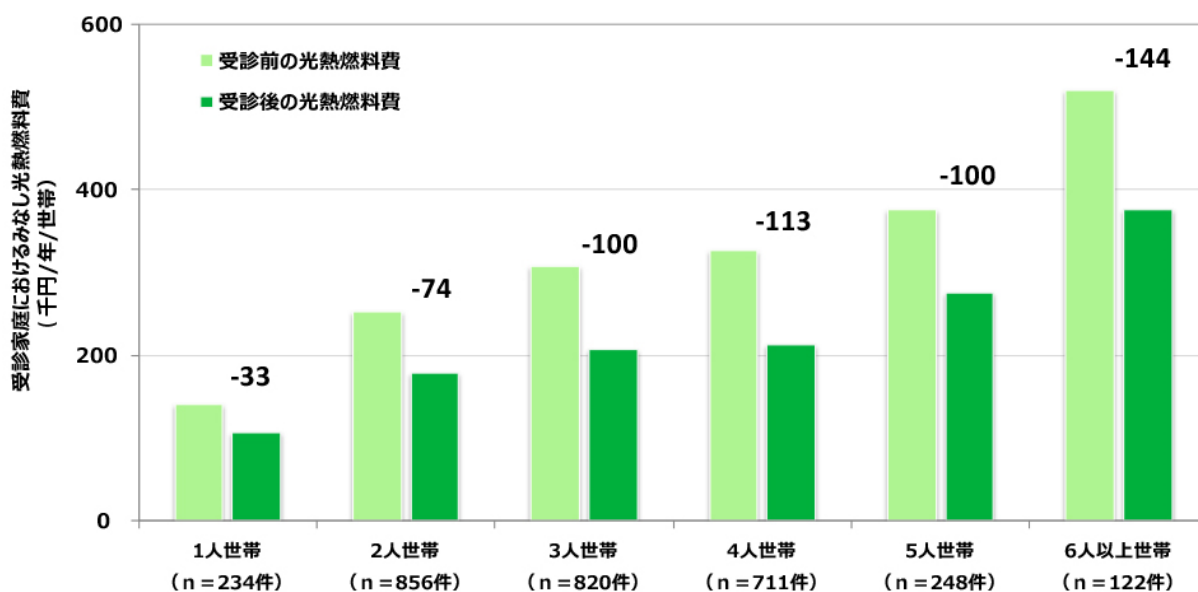


図 3 世帯人数別の診断前後のみなし光熱燃料費節約金額

- ※1 みなし CO₂ 排出削減量とは、受診前の CO₂ 排出量より受診後の CO₂ 排出量を引いたものをここでは言いません。なお、受診後の CO₂ 排出量は、受診者が診断時に選んだ対策のうち、3ヶ月後のアンケート調査で「実施した」あるいは「近く実施する予定」との回答があった対策を1年間継続実行したとみなし、その結果削減された CO₂ 排出量を示します。
- ※2 みなし光熱燃料費節約金額とは、受診者が診断時に選んだ対策のうち、3ヶ月後のアンケート調査で「実施した」あるいは「近く実施する予定」との回答があった対策を1年間継続実行したとみなし、その結果節約された光熱燃料費を示します。
- ※3 節約金額については、設備投資金額が含まれていません。